

令和3年度おいらせ任意インフルエンザ 予防接種費助成のお知らせ

任意インフルエンザ予防接種費助成

【対象者】接種日においておいらせ町に住所を有し、次のいずれかに該当する人

- ①生後6月～高校3年生に相当する年齢（18歳になった日以降の最初の3月31日まで）の人
- ②妊婦及び産婦（産後1年未満の人）

【実施期間】令和3年11月1日（月）～令和4年1月31日（月）

※おいらせ病院は、令和3年12月1日（水）～令和4年1月31日（月）

【接種料金】上記①の人…各医療機関実施額から1,000円を差し引いた額（1年度に2回まで）
上記②の人…各医療機関実施額から2,000円を差し引いた額（1年度に1回まで）

※生後6月～13歳未満は2回接種、13歳～高校生相当年齢は1回接種を推奨します。

【接種方法】予診票、保険証、健康手帳、母子健康手帳を持参し、指定医療機関で接種を受けてください。（予診票、指定医療機関一覧（八戸市医師会）は、指定医療機関・役場本庁舎保健子ども課・分庁舎町民課分室・北公民館に備え付けてあります。）

◆ 指定医療機関一覧（町内）

医療機関名（TEL）	接種曜日及び受付時間	予約受付時間等について
おいらせ病院 (0178-52-3111)	【小児】 月 14:00～16:00 第1・3金 9:00～11:30、14:00～16:00 【妊産婦】 水・木 14:00～15:30 ※月～金の午前、診療と一緒に接種を希望する場合は、予約は不要です。	要予約（電話・来院） 予約開始11月15日から
石田温泉病院 (0178-52-3611)	月～土 診療時間内	要予約
三上医院 (0178-52-2535)	月～土 診療時間内 6歳未満と妊産婦不可	予約不要
下田診療所 (0178-56-3116)	月～金 16:00～16:30 土 なし	要予約 電話予約時間 月～金 9:00～11:00
こんの医院 (0178-56-8066)	火、水、金、土、日 11:30～12:30、15:30～16:45 かかりつけ以外は、火、水、金のみ	要予約（3日前までに）
下田東クリニック (0176-51-8111)	月～金 9:00～11:00、15:00～17:00 土・祭 9:00～12:00、14:30～16:30	要予約 中学生以下と妊産婦不可
こおり耳鼻科 クリニック (0176-53-3387)	月、火、木、金、土 診療時間内	要予約 小学生以下と妊産婦不可
青い森子ども アレルギークリニック (0176-58-7400)	月～土 診療時間内 ※日によって接種時間変更あり	要予約 ※インターネット予約可

◆ 指定医療機関以外のかかりつけ医で接種する場合

接種費用は一旦全額支払い、接種後に印鑑、振込先の通帳、領収書等接種したことがわかるもの（接種済証や接種の記録がある母子手帳）を持参し、本庁舎保健子ども課で助成金の申請をしてください。

任意インフルエンザの生後6月～高校3年生に相当する年齢の人は1,000円を上限として1年度につき2回まで、妊婦及び産婦は2,000円を上限として1年度につき1回まで助成します。

申請期限は令和4年2月10日（木）までです。

問い合わせ先：おいらせ町役場保健子ども課 TEL 0178-56-4701

インフルエンザの予防接種について（説明書）

1. インフルエンザとは

インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみなどをするにより、ウイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。流行は、通常、初冬から春先にみられます。

典型的なインフルエンザの症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などで、のどの痛み、咳、鼻水などもみられます。普通のかぜに比べて全身症状が強いのが特徴です。気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのもインフルエンザの特徴です。

2. インフルエンザ予防接種の有効性

予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間とされています。より効率的に有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前の12月中旬までに接種を受けておくことが必要です。

また、インフルエンザウイルスは毎年変化しながら流行するため、毎年流行が予測されるウイルスにあった予防接種を受けておくことが効果的です。我が国のインフルエンザ予防接種は、近年の状況をみると流行したウイルスを予防するのに効果的でありました。一般的には65歳以上の方は1シーズン1回の予防接種で効果があります。

3. インフルエンザ予防接種の副反応

予防接種の注射の跡が赤みを帯びたり、腫れたり、痛んだりすることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。また、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障がい、意識障がいの症状が現れる等の報告があります。非常にまれですが、ショックやじんましん、呼吸困難などがあらわれることがあります。

4. 予防接種を受ける前に

※インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンとは同時に接種できません。両方接種する場合は、片方のワクチンを受けてから、間隔を2週間以上空けてください。

※2週間以内に体調不良（咳、発熱、だるさ、味覚異常等）があった方や、県外移動をした方は、医師とよく相談して下さい。

(1) 予防接種を受けることができない人

- ①明らかに発熱のある人 一般的に体温が37.5℃以上の場合を指します。
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③インフルエンザ予防接種に含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかな人
- ④予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
- ⑤過去に免疫不全の診断がされている者
- ⑥その他、医師が不適当な状態と判断した場合

(2) 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
- ②今までにけいれんを起こしたことがある人
- ③インフルエンザ予防接種の成分又は鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アレルギーがあるとされたことがある人

(3) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。
- ②インフルエンザワクチンの副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
- ③入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすとはやめましょう。
- ④接種当日はいつもの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。